TIC NEWS

vol.124
2017.7

（公財）とやま国際センター
〒930-0856　富山市牛島新町5-5
インテックビル4F（タワー111）
TEL（076）444-2500
FAX（076）444-2600
E-mail：tic@tic-toyama.or.jp
URL：http://www.tic-toyama.or.jp

2012年に完成したウラジオストクにある世界最長の斜張橋、ルースキー島連絡橋

祝 富山県･ロシア沿海地方友好提携25周年

今年は富山県とロシア沿海地方が友好提携を結んで25周年を迎えます。７月に富山県の経済・物流訪問団がウラジオストクを訪問します。

外国語の絵本よみきかせ親子の会

日時：毎月第２土曜日　10：00～11：00
会場：環日本海交流会館 大会議室

毎回20～30人の親子が集まり、大変人気のある外国語の絵本よみきかせ親子の会。富山県在住のネイティブによる読み聞かせです。読み聞かせの後には毎回、季節にあった簡単な工作なども行っており、子供たちにも好評です。

参加者からは「外国語に手軽に親しめるだけでなく、いろんな子育てのあり方についてシェアできる」との声も。

これからも皆さんの参加をお待ちしています！

【平成29年度スケジュール】

7/8	ポルトガル語	10/14	英　　語	1/13	英　　語
8/5 ※	英　　語	11/11	ロシア語	2/17 ※	英　　語
9/9	英　　語	12/9	英　　語	3/10	中 国 語

※８月は第１土曜日、２月は第３土曜日開催です

国際交流員より離任のご挨拶！

ブリツィナ　タチヤナ さん（ロシア）

皆さん、こんにちは。今年８月、富山県ロシア語国際交流員としての任期が終わることになりました。４年間を振り返ってみると、あっという間のようでした。最初は仕事に慣れるのに時間がかかりました。それから、いろんな業務でいっぱいの日々を過ごし、なかにはロシアへの出張とその準備もあったりして、とても充実した４年間でした。

ところで、この仕事は私にとって人生で一番長く続けた仕事です。母国ロシアよりも日本事情に関してより詳しくなったかもしれません（笑）。

富山には留学したこともあり、第二の故郷と感じるようになりました。優しい人、偉大な自然、キトキトの食に恵まれた生活をしてきたので、今度何処かへ引っ越したら困ることになるでしょう。

国際交流員の任期の間、富山県民向け語学講座や学校訪問、JET世界まつり、翻訳・通訳等の様々な業務に取り組んできましたが、少しでも富山県の国際交流に役立っていましたら嬉しい限りです。今後とも日本とロシアの間の友好の架け橋として活躍していきたいと思います。富山県民の皆さんにも是非、ロシアのウラジオストクにきていただきたいと思います。

国際交流員として富山に着任した時に、ウラジオストク直行便が復活すればいいなと思いましたが、なかなか実現しませんでした。しかし、最近、東京発の飛行機の便数が増えてきて、新幹線を利用すれば、富山からもすぐ行けるようになりました。それに加えて、８月から入国許可の手続きが電子化されるため、日本人がウラジオストクに８日間程ビザなしで滞在できるようになります。

皆様、国境を越えて、友好関係を進めましょう！４年間お世話になりました。今後ともよろしくお願いします。

国際交流員より着任のご挨拶！

孫　肖（そん　しょう）さん（中国）

皆さん、ニーハウ！（こんにちは！）中国遼寧省の瀋陽市から参りました孫肖と申します。学生時代に日本に留学したことがあります。2007年千葉大学院卒業後、瀋陽市に戻り、地方政府外事弁公室で勤務し始めました。今回、国際交流員として富山県で一年間お仕事させていただくこととなり、非常にうれしく思っております。

４月12日に富山空港に着いた時、雄大な立山連峰に心が震えました。目の前には満開の桜が咲き、その背景に高くそびえる雪山が延々と途切れなく続く様子は、まるで綺麗な風景画のようだと思いました。

これから私はできる限り富山県の美しさ、雄大さ、豊かさ、そして食べ物の美味しさ、県民の優しさ等をより多くの中国人に紹介したいと思います。遼寧省と富山県が友好提携してから既に33周年になりますが、これまでの友好事業に引き続き、両県省の更なる活発な交流と協力を推進するため、より広い分野で協力できるよう自分の力を捧げたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

兪（ゆ）・セビョル さん（韓国）

富山県の皆様、はじめまして。韓国のソウルから参りました、兪・セビョルと申します。この度は自然豊かで四季の魅力をたっぷり味わえる富山県の国際交流員として仕事させて頂くことになり、心から嬉しく思っております。

私は小学生の頃から日本のアニメとJPOPに深く興味を持ちまして、小学６年生の頃から独学で日本語の勉強を始めました。私は韓国の梨花女子大学で放送映像学と経営学を専門に勉強しました。2011年の後期には津田塾大学で半年間交換留学をしました。津田塾大学内にある学生寮で生活しながら、多くの日本人の友達が出来ました。帰国してからは、大学の言語教育院でボランティアとして学生の韓国語勉強を手伝うことや、韓国にある日本語塾のブログの記者団として活動し、日本に関する情報発信活動に携わりました。

また、３年前からネットサイト「NAVER」のPOSTサービスにて「パワーポイントのデザイン」について連載しており、フォロワーがおよそ９万人います。2015年度には「セビョルのパワーポイントデザイン授業」という本を出版し、今年５月に本が５刷に入りました。高麗大学の世宗キャンパス、ロッテデパートサービス教育チームや大学や企業等でパワーポイントのデザインについての講演もさせていただきました。

多様な経験を生かして富山の魅力を韓国に紹介し、韓国の魅力を富山の方々へ伝える架け橋になりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際交流員　ターニャさんに聞く－“ウラジオストクのあれこれ”

Q．ウラジオストクの見どころはどこですか？

ブリツィナ・タチヤナさん

A．新しくできたロシア沿海地方水族館やルースキー島連絡橋、金角湾にかかる金角湾横断橋、それらを眺めることができる鷲の巣展望台。こういった場所がお薦めスポットです。また、舞台芸術の殿堂であるマリンスキー劇場が2016年１月にウラジオストクにオープンしました。そしてトレチャコフ美術館、エルミタージュ美術館の別館がウラジオストクにオープンする計画もあります。

　また、ロシア初の日露合弁医療機関である「HOKUTO画像診断センター」が2013年に開業しました。これは以前の私の職場でもあるのですが、ロシアの予防医療の発展に貢献する施設として注目されています。

鷲の巣展望台から望む金角湾横断橋

Q．ターニャさんは国際交流員として富山県内の学校に出向いて、TIC国際理解出前講座の講師をされたりしていますね。

A．　はい。小学生の率直な質問に戸惑ったりしますが、出前講座はいつも楽しかったです。ロシア人も教育を非常に重んじますし、学校から出る宿題も多いですが、さらに日本の子供は学校、部活、塾と毎日忙しくあまり自由がない気がしますね。外で遊んでいる子供が少ないように思います。ロシアでは学外のサークル、クラブに属したりすることも多いですが、日本の部活動のように毎日しなければいけないというものではないです。私も美術の学校に週に３回通っていました。ロシアでは夏休みが３カ月あり、遠くにいる従弟と遊んだり、おばあちゃんの畑で過ごしたり、サマーキャンプに参加したり、親も一カ月休みをとったりして、ロシアの貴重な夏をみんなで楽しみます。

Q．懐かしく思うロシア、ウラジオストクのものと言えば何ですか？

カッテージチーズやサワークリームは好んで食べられる

A．黒パンやカッテージチーズのような乳製品、ソバの実で作るお粥“グレーチカ”です。極東地域は海産物をよく食べますので、ナマコや昆布のサラダのようなものも懐かしいですね。あとは、何時間もかけてゆっくり楽しむパーティ。ロシアの誕生パーティは誕生日の人が主催します。家に招かれた人はプレゼントをもって行きます。またレストランで会食したりもします。テーブルいっぱいの食べ物をゆっくり味わい、時には踊ったりする。これはロシアならではの楽しみです。

　踊りといえば、サルサのようなラテンダンスの教室が今ウラジオストクで人気です。ジム通い、ピラティス、ヨガをする人も多く、健康志向は高まっています。

　ところで、ウラジオストクの人は他の地域のロシア人から足がきれいと言われることがありますが、それはウラジオストクが坂や階段の多い街なので日頃から足が鍛えられているからかもしれないですね。またウラジオストクの人は早口で喋り、時間を大切にする人とも言われています。

　ウラジオストクはアジアに近い街です。ルーブル高の時は、ロシア人が中国によく買い物に行っていましたが、今では中国人がロシアによく買い物に来ています。中華料理のカフェは“チューファニカ”と呼ばれていますがそれは極東地域でしか通じない最近の造語ですね。韓国系の人も多く、韓国のファーストフードもウラジオストクでは人気です。

富山県・ロシア沿海友好提携25周年

富山県とロシア・沿海地方が友好提携を結んだのは1992年のことです。それ以降、両県地方では、県費留学生、技術研修員の受け入れなどの人的交流の推進、渡り鳥の共同調査等の環境協力、スポーツ・文化を通じた青少年交流など幅広い分野にわたる交流を続けてきました。

友好提携25周年に寄せるメッセージ

クラピビナ・タチヤナ さん

　富山県・ロシア沿海地方友好提携25周年、おめでとうございます！

　2008～2009年に富山県で県費留学生として生活をしていました。９年が経ち、ますます富山県と沿海地方の友好関係が発展していることを嬉しく思います。富山県は毎年沿海地方から県費留学生と研修員を受け入れています。県が実施しているウラジオストク市での日本語スピーチコンテストは現地の学生にとっては大きなイベントです。私も学生時代に２回参加しました。ウラジオストク経済サービス大学と富山国際大学の交流、そして子供たちの交流も続いています。富山ウラジオストク会の活動も熱心であり、2014年に続いて今年の５月にも桜の木を極東連邦大学の敷地内に植えました。

　私自身は2008～2009年に富山国際大学で観光を専攻しました。勉強、旅行、パーティー、お祭り、立山登山など楽しいことでいっぱいの１年間でした。留学生活は私の人生に大きな影響を与えました。日本人をより理解できたうえ、ブラジル、アメリカ人等の友達ができ、その国への理解も深まりました。富山で知り合った人の多くは今でも友達であり、ありがたいことです。2014年に富山に再び来たときに富山国際大学の先生たちとも久しぶりにパーティーをして、嬉しかったです。ロシア語の鈴木先生は既に東京に引っ越されていましたが、東京で会うことができました。鈴木先生が私を留学生時代にロシアのイタル・タス通信の東京支局や日本記者クラブに案内してくださったおかげで、今は日本の新聞社の助手として仕事をしています。また、県費留学生のとき富山県庁で週一日、国際交流の仕事をさせていただいた時に国際交流員になりたいという夢を持ち、数年後実現できました。

　大学卒業後、在ウラジオストク日本国総領事館、続いて島根県の国際交流員、現在は朝日新聞ウラジオストク支局に勤めており、日本と日本語関連の仕事に恵まれています。これからもずっと日本に関わりのある仕事をしていきたいです！

　富山で私を支えてくださった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

ジェルノワヤ・ユーリア さん

　富山県・ロシア沿海地方友好提携25周年、おめでとうございます。

　私の地元、沿海地方では富山県を知らない人がいません。1992年に富山県と沿海地方が友好提携を結んで以来、富山県の経済・教育・文化交流促進により、多くのロシア人が日本・富山県に対して興味を持つようになりました。この25年の間に開催された交流事業・イベントをきっかけに「日本を訪れたい」、「日本語を勉強したい」、「日本とビジネスしたい」と感じた人は多いのではないでしょうか？

　個人的には、大学１年生のころ、富山県観光案内パンフレットが手に入り、「立山」が写っている写真を見たのを今でも覚えています。その時、ここに絶対行ってみたいと思いました。また先生方、日本人の留学生の友達から富山県について聞いて、関心が高まっていきました。大学２年生の時、富山県が沿海地方で開催する「日本語スピーチコンテスト」に参加しましたし、２年連続富山県県費留学生試験を受けました。ようやく２回目の試験に合格し、2009年に富山県を訪れる夢が叶いました。

　富山県で過ごした１年間で言語力だけではなく、日本の文化・おもてなしの心について学びました。また富山県・とやま国際センター・富山大学が開催するイベントに参加し、地元、沿海地方・ロシアを紹介する機会を得ました。また留学のおかげで、国境を超える人と人のつながり、地域の交流の大切さを学ばせていただきました。

　富山県・沿海地方友好交流の一環である富山県県費留学生プログラムが私の人生を変えました。大学卒業後、４年間ほど国際交流員の仕事をして、現在は日本を代表する企業で働いています。７年間日本の様々な所に住みましたが、私にとって富山県は１番です。

　現在富山県に住んではいませんが、日常の中でこれからも富山県・沿海地方のために頑張ります！

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2017」作品募集！

開発途上国の問題や国際協力について、考えていることをエッセイに書いてみませんか？

貧困、健康、福祉、教育、ジェンダー平等、気候変動、資源・エネルギー、格差の是正、平和、持続可能な街づくり等、様々な課題について、エッセイを書くことを通じ、より良い世界の為に自分達が出来ることを考えてみましょう！その考えを言葉にすれば、周りを動かす力になるはずです。自分自身の思いを伝える場として活用してくだされば嬉しいです！

◆エッセイコンテスト募集詳細、過去の受賞作品は「JICA地球ひろば」ウェブサイトでもご覧になれます。
https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html

◆上位入賞者には副賞として、開発途上国への海外研修が準備されています！

【対　　象】 中学生・高校生（2017年６月時点）
【テ　ー　マ】「世界の人々と共に生きるために
－私たちの考えること、出来ること－」
【募 集 期 間】 2017年６月９日(金)～2017年９月11日(月)
【問い合わせ】 JICA北陸　開発教育支援担当　武田（たけた）
TEL:076-233-5931／FAX:076-233-5959
E-mail:Taketa.Sayaka@jica.go.jp

◆「エッセイコンテスト2016優秀作品集」をご希望の方はJICA北陸へお問い合わせください。

JICAボランティアからの現地リポート

今回はパナマから届いた青年海外協力隊員　萩原 由佳 さんからのお便りをご紹介します。

2016年７月より中南米にあるパナマで作業療法士として活動しています。

パナマと言えば…パナマ運河！と連想される方が多いのではないでしょうか？太平洋とカリブ海を結んでいる開門式の運河で世界中の貨物船が横断していきます。運河建設の為に移住してきた民族も多く、そのためパナマに生活する人種はさまざまであり、地域によって特色が違うのもパナマの魅力の一つです。

そんなパナマの養護学校で障害児を対象にリハビリテーションの実施、職員や家族に対して支援方法の伝授に勤しんでいます。拙いスペイン語での異国での活動は困難なことも多々ありますが、現地の生活に入り込み一人の日本人としてできることを模索する日々は何事にも代えがたい経験と感じています。

萩原　由佳さん
派 遣 国：パナマ
職　　種：作業療法士
派遣期間：2016年7月～2018年7月
配 属 先：特別養護庁アントン支部

ホストファミリーや活動先の同僚、生徒達に支えられパナマでの生活もようやく楽しめるようになってきました。２年の任期中、１日１日を大切に過ごしパナマの魅力をより深く理解していきたいです。

Voices from the world ～オーストラリア　シドニー～

世界の富山ファンからのメッセージ

エリオット・ブリガム さん

Q．今、どんなお仕事をされていますか？

A．富山から戻ってきて以来、私はシドニーでコミュニティサービスの仕事をしています。地域の高齢者や障害者へ送迎支援を行う団体で働いています。公共交通機関を使えない人、頻繁にタクシーを使う程の金銭的な余裕がない人などが買い物や外出をする際に、低価格で安全に目的地に出かけることができます。

Q．近況について教えてください。

A．都会に住んでいると疲れることがあります。人々はみんな急いでいます。それなのにこの交通渋滞の中を走らなければならないのですから！ 最近この辺りはどこでも工事中で、新しい道がどんどんできています。

　仕事を通して高齢者について学ぶことが楽しいです。一度外国に住んだことがある者として、フレッシュな目でシドニーを探索するのも楽しいです。例えばこの辺りのビーチは最高です！　忘れられたかのように誰もいなくて静かで穏やかです。

Q．富山とはどんな結びつきがありますか？

A．富山に住むのは楽しかったです。富山の女性と結婚したときに、富山は私の一部、そして第二の故郷になりました。そこで素晴らしい友人にも恵まれました。困難ですがやりがいのある英語教師という経験を分かち合ったことで私たちの絆は深まりました。

シドニーハーバー

Q．最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A．富山はシドニーとは随分異なっているので、シドニーの人に私の富山での経験について話すのはいつも面白いです。本当にたくさんのことを学びました。これからもよろしくお願いします！

平成29年度草の根国際活動助成団体決定！

　とやま国際センターでは、県内で国際交流・協力活動及び多文化共生活動を実施する民間の非営利団体・グループに対して助成をしています。平成29年度前期助成団体は以下の団体に決定しました。

団　体　名	事　業　名
富山県日中友好協会	日中国交回復45周年記念「とやま日中友好の集い」
富山ルーマニア友好協会	モルドバ共和国交流フェスタ
南砺市綱引協会	南砺市友好交流 in 綱引

作ってみよう！フランス料理

Omelette aux champignons

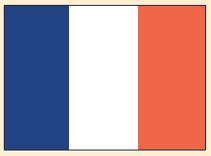
キノコのオムレツ

フランス出身
マチユ・グラセさん お薦め料理！

これは簡単ですが結構おいしい私の故郷の料理です。オムレツの種類はたくさんありますが、このキノコのオムレツは日本のシイタケ等でも作れます。フランスではセップ(ポルチーニ)、アンズタケ、マッシュルーム等をよく使います。誰でも作れるフランス料理なので是非作ってみてください!

～作り方～

1. 小さめのフライパンを強火で熱し、バターを溶かし、好みの大きさに切ったキノコを炒める。
2. 1にみじん切りしたニンニクとパセリを加える。
3. ボールの中で卵をほぐし、塩、コショウをいれる。卵液を泡だて、中火にしたフライパン上のキノコに注ぎ、焼く。フライ返しで時々フライパン上の生地を持ち上げ、卵液を下に流すようにしてパンケーキ状に焼き上げる。
4. 半熟状態になりオムレツがフライパン上を滑るようになったところで火を止め、半分に折って中に火が十分に通るまで数分待つ。
5. 皿に盛り付けて、できあがり。



～材料～（1人分）

卵	2個
お好みのキノコ	100g
パセリ	適宜
ニンニク	1片
バター	30g
塩	少々
コショウ	少々

TICからのお知らせ

これからの行事予定

災害時外国人支援防災訓練事業

(1)やさしい日本語研修
7月1日(土)　15：00～16：30
環日本海交流会館

(2)多言語翻訳研修
7月8日(土)　15：00～16：30
富山市国際交流センター

(3)市町村担当者向け災害時外国人支援基礎研修
7月27日(木)　13：30～16：30
富山県農協会館

(4)広域連携による災害ボランティア研修
7月29日(土)
福井県国際交流協会

(5)富山県総合防災訓練に参加
9月富山市において予定

とやま国際塾

7月16日(日)～17日(月･祝)
富山県呉羽青少年自然の家　＊高校生対象

外国人のための日本語ボランティア養成講座！

【高岡会場】
8/26、9/9、9/30、10/14、10/28
10：30～12：30　土曜日　全5回
高岡市国際交流センター
※黒部会場(コラーレ)は11月に開催予定

日本海学講座

7月8日(土)　14：00～15：30　県民会館401号室
“日本海を渡ってきた鋳造技術”
講師：富山大学芸術文化学部
教授　三船　温尚 氏

9月2日(土)　14：00～15：30　県民会館611号室
“環日本海”－その海域特性と海洋資源を考える－
講師：(一社)海洋産業研究会
常務理事　中原　裕幸 氏

富山湾の魅力体験親子教室

7月29日(土)、7月30日(日)　富山湾
小学生・中学生の親子20組

国際交流人材バンク通訳者セミナー

“医療通訳”
－よきサポータになるために知っておきたいこと－
講師：医療通訳研究会(MEDINT)
代表　村松　紀子 氏
9月2日(土)　13：30～16：30
環日本海交流会館

賛助会員大募集!!

年会費　個人1口　3,000円
団体1口　30,000円
詳しくはホームページをご覧ください！

(公財)とやま国際センターは年4回「Tic News」を発行し、読者の皆さんに様々な情報を届けています。
Tic Newsで取り上げてもらいたいテーマ、ご意見・ご要望があれば是非tic@tic-toyama.or.jpのほうへご意見お寄せ下さい。お待ちしております!